

朝の打ち合わせ（11月15日（月）） 校長より

<令和3年度にやるべきこと>

- 冬休みまであと1か月。令和3年度学校経営運営ビジョンを着実に実行し、掲げた目標を達成しましょう。（令和3年度予算は12月までに執行。）
- 年が明けると、令和3年度のまとめ（点検・評価）をしながら、令和4年の計画・準備。特に、統合校（いわき湯本高校）開校準備のラストスパート。

<令和3年度の振り返り>

- 現在、学校評価アンケート（生徒・保護者・教員）を行っている。
- 11月29日（月）～12月2日（木）には、2学期の期末考査（学習の評価（学習成績））が行われる。その前後に、授業評価アンケート（学習としての評価（生徒の自己評価）、学習のための評価（授業改善））をぜひ実施して欲しい。
- 12月に入ると、各部・学年などにおいて、年間反省が行われる。
- 年度初めの計画について、実施状況をしっかり点検し、改善策も含め、ていねいな振り返りを行ってほしい。
- 以上を踏まえ、期末面談を実施する。

<リスクマネジメント>

- マラソン大会、球技大会、百人一首歌留多大会、卒業証書紙漉き（3年）、修学旅行（2年）、語り部による震災学習（1年）、各種大会（部活動）等々
- 感染症対策と教育活動の両立（リスクマネジメント）。気を緩めない
- 遠野ならではの教育を継承する（続ける・残す・伝える・広げる）ためのアクションを！

朝の打ち合わせ（11月11日（木）） 校長より

<2年ぶりの就業体験学習>

- 11月9日（火）、10日（水）の2日間にわたって、2年生全員対象の就業体験学習が実施された。昨年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。学校として2年ぶりの実施。
- 何がうまくいったのか。何が課題となったのか。生徒一人一人の実施状況を整理し、今後のさまざまな指導・支援につなげていきたい。

<就業体験学習の意義>

- 一般に家庭や学校は、平等・協力を軸とするヨコの共同社会であるのに対し、学校外の組織、特に民間企業は利潤追求と企業の維持・発展を目指すタテ型の目的社会であるとも言われる。
- ヨコ型社会からタテ型社会への円滑な移行の支援にかかわる問題は決して容易ではないが、その有効・適切な処方箋の一つは、就業体験学習である。
- 就業体験学習によって、職業や企業についての体験的理解を深め、自らの生き方や進路についての探究活動を充実し、選択力・適応力を育成することが重要である。

朝の打ち合わせ（11月10日（水）） 校長より

<県立高入試>

- 県教委は9日（火）、令和4年春に実施する県立高の前期選抜における特色選抜の募集定員枠を発表した。いわき湯本は20%としている。
- 統合校の入試の円滑な実施に向け、着実に準備を進めていきたい。

朝の打ち合わせ（11月8日（月）） 校長より

<生徒のSOSを見逃さない>

- 生徒が直面する課題は多様化しており、状況に応じたきめ細かい対応が必要。
- 生徒のSOSを見逃さず、気になる言動や行動などの情報を学校内で共有していくこと、学校と家庭、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家が連携し、生徒が孤立しないようにすることが重要。